



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場会社名 日立化成工業株式会社 上場取引所 東大
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 田中 一行
 問合せ先責任者 (役職名) CSR統括部 コーポレートコミュニケーションセンタ長 (氏名) 加藤 淳 (TEL) 03-5381-2370
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	117,981	△0.1	6,782	△26.7	6,785	△31.4	4,997	△8.1
24年3月期第1四半期	118,145	△5.9	9,256	△27.9	9,893	△29.1	5,437	△31.9

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 849百万円(△80.3%) 24年3月期第1四半期 4,313百万円(1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24.00	—
24年3月期第1四半期	26.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	436,597	284,293	64.2
24年3月期	440,981	287,239	64.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 280,236百万円 24年3月期 283,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	245,000	1.9	14,500	△8.0	14,000	△12.0	9,000	8.3	43.22
通期	510,000	7.8	38,000	55.1	37,000	33.1	23,500	43.1	112.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(注) 当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結累計期間より、有形固定資産の減価償却方法を、定率法から定額法へ変更していますが、これは四半期連結財務諸表規則第10条の5（会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合）の規定に該当するため、「② ①以外の会計方針の変更」と「③ 会計上の見積りの変更」を「有」にしております。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	208,364,913株	24年3月期	208,364,913株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	116,278株	24年3月期	115,612株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	208,248,769株	24年3月期1Q	208,251,019株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(四半期連結損益計算書)	P. 7
(四半期連結包括利益計算書)	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
[補足資料]	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

2012年4月1日から同年6月30日までの連結業績につきましては、自動車関連市場では、震災やタイの洪水からの復興に伴う需要が見られましたが、半導体及び液晶関連市場では、前年度の需要落ち込み後の在庫調整が一巡したものの本格的な回復には至らず、売上高は1,179億81百万円(前年同期比0.1%減)、営業利益は67億82百万円(前年同期比26.7%減)、経常利益は67億85百万円(前年同期比31.4%減)、四半期純利益は49億97百万円(前年同期比8.1%減)と前年同期実績を下回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載)。

機能材料セグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の5.6%減に当たる630億78百万円となりました。

① 電子材料

半導体用エポキシ封止材、半導体用ダイボンディング材料は、半導体市場の回復の遅れにより、前年同期実績を下回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、前年同期に、震災による一時的な生産停止に伴うその後の生産、納入の集中が生じたことから、当四半期においては前年同期実績を下回りました。

電気絶縁用ワニスは、自動車向けが堅調に推移し、前年同期実績並みとなりました。

② 無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの需要減により、前年同期実績を下回りました。

カーボン製品は、福島第一原子力発電所の事故による製造拠点の操業停止からの復興策として、電刷子の新拠点での生産等を推進した結果、前年同期実績を大幅に上回りました。

セラミックスは、半導体製造装置向けで一部顧客の需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

③ 樹脂材料

塗料用樹脂は、産業機械用塗料向けの需要が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

粘着フィルムは、液晶ディスプレイの光学シート表面保護用の需要減により、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、液晶テレビの需要減により、前年同期実績を下回りました。

非接触式ICカード・タグは、アミューズメント分野の需要増により、前年同期実績を上回りました。

④ 配線板材料

銅張積層板は、半導体パッケージ基板向けの需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

感光性フィルムは、中国での配線板需要が一服したことから、前年同期実績を下回りました。

先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上高は前年同期実績の6.9%増に当たる549億3百万円となりました。

① 自動車部品

樹脂成形品、粉末冶金製品は、自動車メーカーの震災からの復旧、復興に伴い、前年同期実績を上回りました。

摩擦材は、福島第一原子力発電所の事故による製造拠点の操業停止からの復興策として、新拠点での生産等を推進した結果、前年同期実績を上回りました。

② 蓄電デバイス・システム

車両用電池は、アイドリングストップ車等の環境対応車向けに売上を伸ばしたため、前年同期実績を上回りました。

産業用電池・システムは、通信事業者のバックアップ電源向けに売上を伸ばし、前年同期実績を上回

りました。

キャパシタは、中国政府の規制強化により風力発電設備の生産が低下したため、前年同期実績を下回りました。

③電子部品

配線板は、自動車向けの売上が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬を中心に売上が伸びたことにより、前年同期実績を上回りました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から43億84百万円減少し4,365億97百万円となりました。主に関係会社預け金が減少し、流動資産が54億72百万円減少したことによるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から14億38百万円減少し1,523億4百万円となりました。主に法人税等の支払により未払法人税等が減少し、流動負債が36億57百万円減少したことによるものです。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末から29億46百万円減少し2,842億93百万円となりました。主にその他の包括利益累計額が40億91百万円減少したことによるものです。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

2012年3月期第2四半期(累計)及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法を変更したことに伴う営業利益の増加に加え、福島第一原子力発電所の事故による操業停止期間の逸失利益に対する東京電力(株)からの補償金を特別利益に計上したことにより、営業利益、経常利益及び当期純利益は、前回発表の業績予想を上回る見込みです。

[第2四半期(累計)]

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	2,450億円	2,450億円	—	—
営業利益	145億円	135億円	10億円	7.4%
経常利益	140億円	130億円	10億円	7.7%
当期純利益	90億円	75億円	15億円	20.0%

[通期]

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上高	5,100億円	5,100億円	—	—
営業利益	380億円	360億円	20億円	5.6%
経常利益	370億円	350億円	20億円	5.7%
当期純利益	235億円	215億円	20億円	9.3%

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く。）については定額法）を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、顧客のグローバルな事業展開が急速に進む中、海外市場での需要を取り込むために、海外拠点の拡大に積極的に推進してきたほか、災害発生時の製品の安定供給を目的に、海外拠点の設立や増強を進めてまいりました。これらの諸施策の取り組みによって建設された設備は、当連結会計年度より順次立ち上り、本格的に稼働してまいります。一方、国内拠点では、高付加価値品向けの事業体制にシフトすることによって生産量が確保され、設備の稼働は安定的に推移することになります。このため、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更することが、経営の実態をより適切に反映するとの判断に至りました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ304百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,703	39,304
受取手形及び売掛金	107,126	106,909
有価証券	1,897	2,308
製品	19,160	20,608
仕掛品	10,387	11,118
原材料	12,972	13,279
関係会社預け金	38,698	28,336
その他	22,195	22,706
貸倒引当金	△1,639	△1,541
流動資産合計	248,499	243,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43,551	43,085
機械装置及び運搬具(純額)	49,500	48,912
土地	18,334	18,639
その他(純額)	19,910	20,974
有形固定資産合計	131,295	131,610
無形固定資産		
のれん	24,683	25,483
その他	5,022	4,794
無形固定資産合計	29,705	30,277
投資その他の資産		
投資有価証券	14,173	13,732
その他	18,008	18,620
貸倒引当金	△699	△669
投資その他の資産合計	31,482	31,683
固定資産合計	192,482	193,570
資産合計	440,981	436,597

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,367	51,702
短期借入金	15,931	15,579
未払法人税等	5,204	3,794
災害損失引当金	12	—
その他	37,900	34,682
流動負債合計	109,414	105,757
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	4,739	5,695
退職給付引当金	16,544	16,781
役員退職慰労引当金	1,253	994
その他	1,792	3,077
固定負債合計	44,328	46,547
負債合計	153,742	152,304
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	36,113	36,113
利益剰余金	248,325	249,574
自己株式	△191	△192
株主資本合計	299,701	300,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	732	365
繰延ヘッジ損益	△166	△459
為替換算調整勘定	△17,188	△20,619
その他の包括利益累計額合計	△16,622	△20,713
少数株主持分	4,160	4,057
純資産合計	287,239	284,293
負債純資産合計	440,981	436,597

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)
売上高	118,145	117,981
売上原価	89,275	90,271
売上総利益	28,870	27,710
販売費及び一般管理費	19,614	20,928
営業利益	9,256	6,782
営業外収益		
受取利息	67	92
受取配当金	164	131
受取ロイヤリティー	595	591
持分法による投資利益	331	483
その他	513	812
営業外収益合計	1,670	2,109
営業外費用		
支払利息	178	232
固定資産処分損	183	153
為替差損	297	938
その他	375	783
営業外費用合計	1,033	2,106
経常利益	9,893	6,785
特別利益		
固定資産売却益	661	—
受取補償金	—	1,899
特別利益合計	661	1,899
特別損失		
災害による損失	423	—
特別損失合計	423	—
税金等調整前四半期純利益	10,131	8,684
法人税等	4,444	3,505
少数株主損益調整前四半期純利益	5,687	5,179
少数株主利益	250	182
四半期純利益	5,437	4,997

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,687	5,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72	△367
繰延ヘッジ損益	278	△293
為替換算調整勘定	△1,684	△3,740
持分法適用会社に対する持分相当額	△40	70
その他の包括利益合計	△1,374	△4,330
四半期包括利益	4,313	849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,105	906
少数株主に係る四半期包括利益	208	△57

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(4) セグメント情報

新神戸電機㈱の完全子会社化を契機に、2012年4月1日付けで「産業エネルギー事業本部」を設置したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、新神戸電機㈱の一部製品のセグメントを先端部品・システムから機能材料へ変更しております。

また、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、当第1四半期から変更するセグメント区分の内容に組み替えて表示しております。

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社事業の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、材料から部材、さらに部品へと、製品の加工度に応じた括りによる組織体制に基づき、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製品の加工度別に、材料を「機能材料」、部材及び部品を「先端部品・システム」の各セグメントに分類し、これら2つを報告セグメントとしております。

「機能材料」事業では、電子材料、無機材料、樹脂材料、配線板材料等の製造・販売を行っており、「先端部品・システム」事業では、自動車部品、蓄電デバイス・システム、電子部品等の製造・販売を行っております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自2011年4月1日至2011年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	66,800	51,345	118,145	—	118,145
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,140	87	2,227	(2,227)	—
計	68,940	51,432	120,372	(2,227)	118,145
セグメント利益	8,872	398	9,270	(14)	9,256

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自2012年4月1日至2012年6月30日）

（単位：百万円）

科 目	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売 上 高					
(1) 外 部 顧 客 へ の 売 上 高	63,078	54,903	117,981	—	117,981
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,947	306	2,253	(2,253)	—
計	65,025	55,209	120,234	(2,253)	117,981
セグメント利益	5,987	799	6,786	(4)	6,782

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

〔補足資料〕

1. 前連結会計年度のセグメント情報

前連結会計年度のセグメント情報につきまして、当第1四半期から適用するセグメント区分の内容に組み替えた場合、四半期連結会計期間ごとの売上高及び営業損益の金額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2012年3月期				
	第1四半期 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)	第2四半期 (自 2011年7月1日 至 2011年9月30日)	第3四半期 (自 2011年10月1日 至 2011年12月31日)	第4四半期 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)	年度計 (自 2011年4月1日 至 2012年3月31日)
売上高	118,145	122,301	116,426	116,197	473,069
機能材料	66,800	62,224	59,157	56,674	244,855
先端部品・システム	51,345	60,077	57,269	59,523	228,214
営業損益	9,256	6,511	3,622	5,106	24,495
機能材料	8,872	4,528	3,144	3,595	20,139
先端部品・システム	398	1,988	482	1,506	4,374
調整額	△ 14	△ 5	△ 4	5	△ 18

2. 各セグメントの主要製品

セグメント	主要製品
機能材料	<p>電子材料 半導体用エポキシ封止材、半導体用ダイボンディング材料、半導体回路平坦化用研磨材料、電気絶縁用ワニス</p> <p>無機材料 リチウムイオン電池用カーボン負極材、カーボン製品、セラミックス</p> <p>樹脂材料 塗料用樹脂、粘着フィルム、ディスプレイ用回路接続フィルム、接着剤、非接触式ICカード・タグ</p> <p>配線板材料 銅張積層板、感光性フィルム</p>
先端部品・システム	<p>自動車部品 樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品</p> <p>蓄電デバイス・システム 車両用電池、産業用電池・システム、キャパシタ</p> <p>電子部品 配線板</p> <p>その他 診断薬・装置</p>